

八戸市過疎地域持続的発展計画（令和3年4月～令和9年3月）

令和4年度 過疎対策事業の実績

持続的発展施策区分	事業内容	事業実施の経緯・目的	事業内容（詳細）	達成状況
産業の振興	板橋ノ下地内排水路改修事業	当該地区の水路は完成後30年以上が経過し、劣化や破損が進行している状況であることから、水漏れ等が生じ田畑に必要な用排水機能を確保できず農耕作に支障を来している。また、降雨時には排水ができず周辺の田畑に冠水被害が出るなど環境悪化の原因にもなっている。農耕作に必要な用水の確保、降雨時の排水機能の向上を図るためにも、計画的に改修を行う必要がある。	○排水路改修 U300入替 L=255m	令和4年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 当該事業を実施したことにより、農耕作に必要な用水の確保、降雨時の排水機能の向上、農業環境の改善が実現し、更なる農耕作の支援、耕作放棄の防止、農用地の保全対策に取り組むことができ、地域の持続的発展が図られた。
	土渡地内排水路改修事業	当該地区の水路は完成後30年以上が経過し、劣化や破損が進行している状況であることから、水漏れ等が生じ田畑に必要な用排水機能を確保できず農耕作に支障を来している。また、降雨時には排水ができず周辺の田畑に冠水被害が出るなど環境悪化の原因にもなっている。農耕作に必要な用水の確保、降雨時の排水機能の向上を図るためにも、計画的に改修を行う必要がある。	○排水路改修 U700新設 L=63.5m	令和4年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 当該事業を実施したことにより、農耕作に必要な用水の確保、降雨時の排水機能の向上、農業環境の改善が実現し、更なる農耕作の支援、耕作放棄の防止、農用地の保全対策に取り組むことができ、地域の持続的発展が図られた。
	朝もやの館直売所改修事業	新鮮な農産物等を販売している直売所において、特に室内の高温による農産物の劣化が著しい現状を踏まえ、それを防ぐこと、また来館者や従業員に対する暑さ対策として空調設備の設置を行う必要がある。	○空調設備設置	令和4年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 当該事業を実施したことにより、直売所の温度が調整され、特に夏場の高温による新鮮な農産物の劣化防止が実現するとともに、来館者や従業員がより快適な環境で過ごすことができ、総合的に直売所の運営が促進され、地域の持続的発展が図られた。
	グリーンプラザなんごう改修事業	平成8年の建設・設置から令和4年で26年が経過し施設の老朽化及び設備の経年劣化が進んでいる。このような状況を踏まえ、客室の天井・壁のクロス張り替え・床のカーペット張り替え、ホール・廊下・階段のカーペット張り替えを行うとともに、客室の寝具等更新、授乳スペースの設置、子ども用トイレの設置、客室・トイレの洗面台蛇口更新を行う必要がある。	○内装修繕 ○給排水設備取替修繕	令和4年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し施設の適正な管理を行う。 当該事業を実施したことにより、宿泊施設としての美観・魅力を高められ集客につながるとともに、施設内環境の改善や利便性の向上が実現し、地域の持続的発展が図られた。

八戸市過疎地域持続的発展計画（令和3年4月～令和9年3月）

令和4年度 過疎対策事業の実績

持続的発展施策区分	事業内容	事業実施の経緯・目的	事業内容（詳細）	達成状況
産業の振興	ジャズの館南郷改修事業	平成12年の建設から令和4年で22年が経過し、施設の老朽化及び設備の経年劣化が進んでいるため、計画的に修繕又は更新を行う必要がある。	○空調設備取替修繕	令和4年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し施設の適正な管理を行う。 当該事業を実施したことにより、利用者や従業員に対する快適で過ごしやすい施設空間が確保されるとともに、施設内環境の改善や利便性の向上が実現し、地域の持続的発展が図られた。
	島守田園空間博物館改修事業	館のやかたは平成17年に建設され令和4年で17年を経過していることから、付随する施設の老朽化及び設備の経年劣化が進んでいる。特に屋外トイレ外壁の劣化が顕著であり、風雨等による腐食が進む可能性が非常に高いことから、修繕を行う必要がある。	○館のやかた 屋外トイレ腰壁修繕	令和4年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し施設の適正な管理を行う。 当該事業を実施したことにより、風雨等による劣化や腐食、雨漏等が防止されるとともに施設利用者の利便性の向上や安全が確保され、施設内環境の改善及び施設の延命化が実現し、地域の持続的発展が図られた。
	南郷地区活性化施設連携交流事業	森と水のサンクチュアリ連絡協議会（構成団体：なんごうプラザ(株)、山の楽校運営協議会、島守田園空間博物館運営協議会）の地域の主要な観光施設が単体ではなく連携したかたちで、南郷地域の魅力を発信する事業を展開する必要がある。	○青葉湖新緑ウォーク（5月） ○南郷の日（7月） ○新そばまつり（10月～11月） ○雪虫まつり（2月）	令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により一部交流事業が中止を余儀なくされたが、令和4年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し南郷地域の主要施設間で連携を図り交流事業を行う。 当該事業を実施したことにより、施設の連携が強化されるとともに地域全体の活性化が促進され、地域の持続的発展が図られた。
交通施設の整備 交通手段の確保	砂籠・十文字線 L=2, 160m W=10.5m	道路維持管理を徹底し、通勤や通学等の生活道路となる市道の整備を行う必要がある。また国道340号線から島守田園空間博物館、青葉湖展望交流施設、市民の森不習岳、青葉湖等の観光・レクリエーション施設に観光客を誘導する道路の整備を行う必要がある。	○物件調査委託	令和4年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し道路の適正な整備・管理を行う。 当該事業を実施したことにより、将来的に通勤や通学などの生活道路に支障を来している区間の解消、安全確保、観光で訪れる方々の利便性向上につながり、地域の持続的発展が図られた。

八戸市過疎地域持続的発展計画（令和3年4月～令和9年3月）

令和4年度 過疎対策事業の実績

持続的発展施策区分	事業内容	事業実施の経緯・目的	事業内容（詳細）	達成状況
交通施設の整備 交通手段の確保	笹子・田ノ沢線 L=1,500m W=7.0m	道路維持管理を徹底し、通勤や通学等の生活道路となる市道の整備をする必要がある。また国道340号線から島守田園空間博物館、青葉湖展望交流施設、市民の森不習岳、青葉湖等の観光・レクリエーション施設に観光客を誘導する道路の整備を行う必要がある。	○道路改良工事 ○移設補償 L=110m	令和4年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し道路の適正な整備・管理を行う。 当該事業を実施したことにより、将来的に通勤や通学などの生活道路に支障を来している区間の解消、安全確保、観光で訪れる方々の利便性向上が実現し、地域の持続的発展が図られた。
	鳩田・中小花線 L=1,770m W=7.0m	道路維持管理を徹底し、通勤や通学等の生活道路となる市道の整備を行う必要がある。また国道340号線から観光農園等に観光客を誘導する道路の整備を行う必要がある。	○道路改良工事 ○移設補償 L=70.6m	令和4年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し道路の適正な整備・管理を行う。 当該事業を実施したことにより、将来的に通勤や通学などの生活道路に支障を来している区間の解消、安全確保、観光で訪れる方々の利便性向上が実現し、地域の持続的発展が図られた。
	人形森・中新田線 L=1,050m W=7.0m	道路維持管理を徹底し、通勤や通学等の生活道路となる市道の整備を行う必要がある。また国道340号線から観光農園等に観光客を誘導する道路の整備を行う必要がある。	○道路改良工事 ○移設補償 L=60m	令和4年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し道路の適正な整備・管理を行う。 当該事業を実施したことにより、将来的に通勤や通学などの生活道路に支障を来している区間の解消、安全確保、観光で訪れる方々の利便性向上が実現し、地域の持続的発展が図られた。
	島守・堤森線 L=1,936m W=7.0m	道路維持管理を徹底し、通勤や通学等の生活道路となる市道の整備を行う必要がある。また国道340号線から島守田園空間博物館、青葉湖展望交流施設、市民の森不習岳、青葉湖等の観光・レクリエーション施設に観光客を誘導する道路の整備を行う必要がある。	○道路改良工事 ・軽量盛土工 ・補強土壁工	令和4年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し道路の適正な整備・管理を行う。 当該事業を実施したことにより、将来的に通勤や通学などの生活道路に支障を来している区間の解消、安全確保、観光で訪れる方々の利便性向上が実現し、地域の持続的発展が図られた。

八戸市過疎地域持続的発展計画（令和3年4月～令和9年3月）

令和4年度 過疎対策事業の実績

持続的発展施策区分	事業内容	事業実施の経緯・目的	事業内容（詳細）	達成状況
交通施設の整備 交通手段の確保	市野沢・増田線 L=1,900m W=7.0m	道路維持管理を徹底し、通勤や通学等の生活道路となる市道の整備を行う必要がある。また国道340号線から島守田園空間博物館、青葉湖展望交流施設、市民の森不習岳、青葉湖等の観光・レクリエーション施設に観光客を誘導する道路の整備を行う必要がある。	○道路改良工事 ○移設補償 L=80m	令和4年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し道路の適正な整備・管理を行う。 当該事業を実施したことにより、将来的に通勤や通学などの生活道路に支障を来している区間の解消、安全確保、観光で訪れる方々の利便性向上が実現し、地域の持続的発展が図られた。
	七枚田・高久保線 L=170m、W=6.0m	道路維持管理を徹底し、通勤や通学等の生活道路となる市道の整備を行う必要がある。	○舗装補修 L=171.7m	令和4年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し道路の適正な整備・管理を行う。 当該事業を実施したことにより、通行に支障を来している狭あいな区間等の解消、安全の確保が実現し、通勤や通学などの生活道路の利便性が向上するとともに地域の持続的発展が図られた。
	阿庄内・目蕪ラ線 L=700m W=7.5m	道路維持管理を徹底し、通勤や通学等の生活道路となる市道の整備を行う必要がある。	○舗装補修 L=120m	令和4年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し道路の適正な整備・管理を行う。 当該事業を実施したことにより、通行に支障を来している狭あいな区間等の解消、安全の確保が実現し、通勤や通学などの生活道路の利便性が向上するとともに地域の持続的発展が図られた。
	馬場瀬・山陣屋線 L=1,700m W=7.5m	道路維持管理を徹底し、通勤や通学等の生活道路となる市道の整備を行う必要がある。	○舗装構造調査 L=1,000m	令和4年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し道路の適正な整備・管理を行う。 当該事業を実施したことにより、通行に支障を来している狭あいな区間等の解消、安全の確保につながり、通勤や通学などの生活道路の利便性が向上するとともに地域の持続的発展が図られた。

八戸市過疎地域持続的発展計画（令和3年4月～令和9年3月）

令和4年度 過疎対策事業の実績

持続的発展施策区分	事業内容	事業実施の経緯・目的	事業内容（詳細）	達成状況
子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進	老人福祉施設改修等事業	老人福祉センター（デイサービスセンター併設）は、令和4年で建設から28年が経過し、施設の老朽化及び設備の経年劣化が進んでいるため、計画的に各年度において修繕又は更新を行う必要がある。	○老人福祉センターカーペット修繕	令和4年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し施設の適正な管理を行う。 当該事業を実施することにより、施設利用者に対する集いの場の機能が向上するとともに介護保険事業が円滑に推進され、施設環境の改善及び利便性の確保、施設の延命化、地域の持続的発展が図られた。
教育の振興	南郷図書館法面及び駐車場補強改修事業	南郷図書館の駐車場は、路盤の凍結障がいの影響により路面が荒れているため、来館者の駐車や歩行に支障を来しているとともに、降雪期に効率的な除雪作業ができない。特に出入口付近は段差が大きいため、早急に改修する必要がある。	○駐車場路面改修	和4年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し施設の適正な管理を行う。 当該事業を実施したことにより、利用者に対する安全確保、利便性の向上及び施設環境の改善、施設の延命化及び地域の持続的発展が図られた。
	南郷図書館改修事業	南郷図書館内における非常用照明器具及び誘導灯用照明器具に不点灯状態のものがあるため、早急に更新する必要がある。	○照明器具更新修繕 ・非常用照明器具 ・誘導灯用照明器具	和4年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し施設の適正な管理を行う。 当該事業を実施したことにより、利用者に対する安全確保、利便性の向上及び施設環境の改善、施設の延命化及び地域の持続的発展が図られた。
教育の振興	南郷地区児童生徒通学支援事業	南郷地区の学校の統廃合により、公共交通機関がない遠隔地からの児童生徒に対する交通手段を、マイクロバスとタクシーを組み合わせたかたちで確保する必要がある。	○スクールバス運行等通学支援業務委託	和4年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し児童生徒の交通手段の確保を行う。 当該事業を実施したことにより、安心して学校生活を過ごせる環境が確立され、将来を担う子供たちの人材育成につながり、地域の持続的発展が図られた。

八戸市過疎地域持続的発展計画（令和3年4月～令和9年3月）

令和4年度 過疎対策事業の実績

持続的発展施策区分	事業内容	事業実施の経緯・目的	事業内容（詳細）	達成状況
地域文化の振興等	南郷文化ホール活用促進事業	南郷文化ホールにおいて、舞台公演やコンサートなど地域住民が文化芸術に触れる機会を創出するとともに、出演者によるアウトリーチを実施することで、これまで以上に施設の利活用の促進を図る必要がある。	○文化公演事業委託	和4年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し施設の利活用の促進を行う。 当該事業を実施したことにより、ホールの利用率及び集客力の向上に加え地域住民が多様な文化芸術に触れる機会が増え、地域文化の振興や地域の持続的発展が図られた。
	島守田園空間博物館交流推進対策事業	島守地区の自然や文化を活用した学習会や観察会、ウォーク等を開催するほか、地区で収穫されるそばやもち米を使った、新そばまつり、年越しそば、切り餅の販売を行い、年間を通じて地域の特性を活かした事業を展開し、高齢化や後継者不足が進む傾向にある当該地区内をはじめ外部からの人材確保や協力体制の仕組みをつくる必要がある。	○八戸市島守田園空間博物館交流推進対策事業	令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により一部交流事業が中止を余儀なくされたが、令和4年度の過疎対策事業は予定どおり完了した。 次年度以降も計画的に過疎対策事業債を活用し地域活性化を行う。 当該事業を実施したことにより、島守地区の自然や文化等について他地域との交流及び機会の提供場所として積極的に展開する施設の利活用が促進され、地域の持続的発展が図られた。